

## ※ 今週のアウトルック(9/4~9/8)

先週は週末に米国雇用統計の発表を控え、各通貨ペアとも小動きな展開となりました。

米国雇用統計の結果は予想よりは改善していたものの、大きなサプライズ感はなく、米ドルも発表後は一時的に急落したもののすぐに回復して、146円台前半で週末を迎えました。

今週は相変わらず金利の動きには左右されやすいものの、大きくは動きづらい展開となる可能性が強そうです。

先週のドル円は金曜日の米国雇用統計発表後、144.5円付近まで急落しましたがすぐに回復して、146円台前半で週末を迎えました。

雇用統計の結果はあまり材料視されていないようです。

今週は新規材料に乏しい中、どちらへも動きづらい展開となりそうです。ドル高もそろそろ終着点の予想に焦点が集まりだしており、これ以上の高値を追う事は難しくなっているようです。

ドル円の予想レンジは143円から148円です。

先週のユーロ円は、週中に160円目前まで上昇したものの、その後下落し157円台中盤で週末を迎えました。

今週はユーロドルが再び1.07付近まで下落する中、一度1.06付近まで下落する可能性が浮上しているように思います。

このままユーロドルが下落した場合、ユーロ円も155円付近まで下落する可能性が高まるように思います。

ユーロ円の予想レンジは155円から160円です。

ポンド円は高値圏維持が難しくなっているように思います。

一度、180円付近まで下落する可能性が高まってきているように思います。

ポンド円の予想レンジは180円から187円です。

今週は全般的には小動きな展開が予想されますが、こういった状況下では要人発言により大きく動く可能性も高まりますので注意が必要です。

## \*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。